

私の父親は秋田県出身なので、縁者は東北に多く、仙台市に従姉妹が2人いますが、ひとりの安否はわかっていません。秋田市に住む従姉とは、人づてに連絡がきたところですが、報道されない地域の被害も相当にあるようです。

これまでも、集落がいくつも消失してしまう…数万人単位の災害がニューオリンズでも、チリでも、インドネシアでも、そんな事象があったことを私たちは知っているはずなのに、実は、判ってはいなかった…そんな気がしています。

重ねて、原子力発電所の放射能放出も…レベル6とされたそうですが、「異火」と表現されるように、人の力の限りを感じずにはられません。しかし、まさに、この国の危機管理能力が試されているのだと思います。

議論も何もなく、党利党略以下の愚かしいやりとりの国会がここで、国民に目を向けなければ、この国の再生はありません。現時点での政府の発信力に、どれほど力不足を感じても、ここは、辛抱しつつ次への着実な展開を待ちたいと思います。

できるなら、例えば、道路や港湾の復旧について
「今、ここを、こういう方向で復旧させている。いつまでに、どういう見通しであるか」
「何日の時点で、どこまでがどうか…」
物資、医薬品やガソリン等の調達に関しても、
「誰が、どういう指示を出して、どこが、どういう調達を指示、手配しているか」
「基地をどこに置いて、どのように配給することを目指しているか」
といったプレゼンがあれば、
要は、わずかでも先の見通しがあれば、混乱が軽減されるのではないかと思います。

そう感じていたら、ようやく、情報が出てきました。
救助側も精一杯やっていることは、よく判ります。
考えていた以上に、早い輸送路の復旧だとも思います。
その意味で、統括本部の発表も重要ですが、
国土交通大臣なり、厚労大臣なりが、もっと前面に出てきて
関係機関への指示や連携を、国民に見える形にすれば、落ち着きが出てくるのではと感じるのは、私だけでしょうか。

いずれにしても、多くの方々の無事を祈るばかりです。